

SOWER

ソア=種まく人

No.22

July 2003

財団法人

日本聖書協会

特集 手話訳聖書ビデオー全巻完成をめざして



新21 聖書の 世界

写真／文 横山 匡



高潔なキュロス大王

紀元前五五〇年に、ペルシャ帝国を立ち立てたキュロス大王は、今もイランの国民に慕われる高潔な国王です。

西はトラキア地方、東はインダス川に至る広大な地域を征服しながら、それぞれの民族の宗教や文化を保護する寛大な政策をとりました。バビロン（現在のイラク）に捕囚されていたイスラエルの民を帰国させ、神殿建設まで認めます。大王が建設した都パサルガダエ遺跡のはずれに、キュロス大王の墓があり、休日には多くの人々がここを訪れます。

このたびのイラク戦争で、アメリカは石油省は守ったのに、国立博物館を略奪するに任せたのは、後世まで重大な禍根を残すこととなるでしょう。

「主が油を注がれた人キュロスについて主はこう言われる。

わたしは彼の右の手を固く取り
国々を彼に従わせ、王たちの武装を解かせる。

扉は彼の前に開かれ
どの城門も閉ざされることはない。」

わたしがあなたがたを愛したように、 あなたがたも互いに愛し合うこと、 これがわたしの戒めです。

(ヨハネによる福音書15章12節)

「わたしは律法や預言者を廃棄するためではなく、成就するために来たのです」(マタイ5章17節)とのみ言葉の通り、
主イエス・キリストは十戒と旧約聖書の律法を成就して歩む『^{いのち}生命の道』の教え、
山上の垂訓を弟子たちに教えました。また3年半の公生涯において、主ご自身でその教えを実践され、
弟子たちに模範を示されるとともに「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」という
新しい戒めを弟子たちにお与えになりました。そして、主は十字架の死をも恐れず前進され、三日目に復活され、
天に昇り神の右の座に着座されると、父なる神にお願いして3年半の公生涯の導き主、慰め主であった聖霊なる神を
弟子たちにお遣わし下さり、世界宣教に励む弟子たちの助け主、慰め主として下さいました。
キリストの弟子が主の業に励み良き実を結ぶ決め手は、主の戒めを守り、互いに愛し合い助け合って、
『^{いのち}生命の道』を歩むことです。

飯島延浩

山崎製パン株式会社 代表取締役社長



表紙の言葉

ブラジルのリオのカーニバルは、カトリックの国で行われる謝肉祭の中で最も盛大です。
パレードの参加者は20万人ぐらいです。
また、コーヒーの産地で、収穫された赤い実は、風にさらしてゴミを取ります。
(絵=月本佳代美)

C O N T E N T S

Sower
No.22
2003

特集

2 『手話訳聖書ビデオ』
全巻完成をめざして

JBS情報

6 発行迫る! 『聖書スタディ版』

神戸バイブル・ハウスついに開館!

Eメール 渡部 信

8 21世紀と聖書 池長 潤

いま、真の平和とは

―神戸バイブル・ハウスからのメッセージ

10 聖書セミナー① 小林 稔

ヨハネの手紙ⅠⅡⅢを読む

12 JBS情報

GSP現地レポート

人物と聖書 鈴木 範久

14 井口喜源治と聖書

教会備え付け聖書

16 リフレッシュキャンペーン

聖書図書館蔵書シリーズ④

17 翻訳委員会中訳『新約聖書』(分冊)

『手話訳聖書ビデオ』 全巻完成をめざして

日本聖書協会と日本ろう福音協会が協力し、

15年をかけて『手話訳聖書ビデオ』全巻完成をめざした計画が進められています。

この計画は、ろう者の方々のために、ろう者にとっての第一言語である「手話」で翻訳された聖書を発行しようという日本ではじめての試みです。

今回は『手話訳聖書ビデオ』に関するこれまでの働きや制作の現状を中心に、将来の展望を含めてご報告いたします。

なぜ『手話訳聖書ビデオ』が 必要なのか？

ろう者と身近に接する機会のない方は、意外に思われるかもしれませんが、ろう者の中には日本語を十分に理解して使える人はごく少ないのが現状です。なぜなら、難聴者や中途失聴者と違い、生まれつきあるいは言語を理解できる年齢に達する前に幼くして聴覚を失った、多くのろう者の第一言語は「日本手話（自然手話）であり、その「手話」は、話し言葉とは異なる独自の文法体系を持つ言語だからです。例えば、日本人が英語を読むときと同じように、ろう者は日本語を読むとき、まず日本語の意味をつかむことが難しいのです。ろう者の自然な言語である「日本手話」によって語られる聖書があったなら、ろう者のクリスチャンはもっと自由に聖書を学び、自然にみ言葉を理解できるでしょう。そしてまた、クリスチャンでないろう者の人たちも、聖書と出会うチャンスが広がることでしょう。

『手話訳聖書ビデオ』制作の 現状

■当初の歩み―失敗に学んで―

今年（2003年）の4月に、日本聖書協会と日本ろう福音協会とのパートナーシップが正式に結ばれる以前、『手話訳聖書ビデオ』の制作は日本ろう福音協会が単独で進めてい

ました。

その制作が始まったのは同協会の設立年である1993年からで、まず『ルカによる福音書』（2・1-20）の試作版が作られました。しかし、この手話訳は失敗でした。子どもから年輩という幅広い年齢層にわかる手話にこだわりすぎた結果、劇的（手話表現が芝居的な大げさな表現になり、余計な動き無駄な動きが多いこと）な要素が強くなり、かえってわかりにくいものになってしまったのです。また、子どもや年輩者にわかったとしても、一般のろう者には簡単すぎるという問題もありました。

この試作版での失敗にひるむことなく、同協会はこの後、専門家を招いての手話翻訳ワークショップや翻訳演習などを企画し、それらを通して、手話翻訳やその表現方法を取り入れていきました。さらに、収録時の技法的な面においてもよりよい方法を模索し、さまざまな試行錯誤を繰り返して、現在では、次のような制作のプロセスが確立されています。

■『手話訳聖書ビデオ』がわかるまで

―制作工程―

【翻訳作業】

一次下訳：日本語の聖書を参照して、簡単な手話訳をビデオに収録する↓言語対照チェック：翻訳内容が原典の意味をよりよく表すように調整する↓二次下訳：チェックとコメントを参考に、再度翻訳を行う↓手



記者会見で協力調印を交わす渡部総主事(右)と松本理事長(左)
(2003年4月4日)



現在発行されている
『手話訳聖書ビデオ』

話チェック：翻訳内容に手話の間違いがないか、翻訳者以外の者がチェックを行う↓
三次下訳：チェックとコメントを参考に、再度翻訳を行う↓理解チェック：ろう者が翻訳を見て正しく意味を受けとることができするかをチェック、必要に応じて翻訳を訂正する↓三次チェック：翻訳を厳密にチェックし、訂正する

【ビデオ収録・編集】

練習：スタジオで本番収録直前に練習する
↓収録：スタジオで手話訳聖書をビデオテープに収録する↓編集：手話訳聖書ビデオに字幕を挿入する↓ビデオチェック：画像、手話、字幕の最終チェックをする

1本の『手話訳聖書ビデオ』は、このように一次下訳からビデオチェックまで多くの工程を経て完成します。そして、完成したもののマスタービデオをダビングして発行・頒布の準備がすべて整い、利用者の元へと届けられます。

■日本と世界・これまでの制作実績

日本における手話訳の聖書は、1993年、日本ろう福音協会が試作版として『ルカの福音書2章1節-20節』のビデオを制作したのが始まりです。そして、2002年までに、旧新約聖書の中から9書を手話訳し、計8本の『手話訳聖書ビデオ』が発行されました(右表

2002年までに発行された 『手話訳聖書ビデオ』

発行年	書名
1996年	ヨナ書・ルツ記
1998年	マルコによる福音書
1999年	使徒言行録(2本組) フィリピの信徒への手紙
2000年	テサロニケの信徒への手紙1・2
2001年	ヤコブの手紙
2002年	ガラテヤの信徒への手紙

参照。

また、最も早くからその制作に着手したアメリカでは、1981年の制作開始から20数年をかけて、聖書全巻のおよそ50%が完了されたと伝えられています。

制作の試みは、現在、世界23カ国で行われています。しかし、その状況は国によりさまざま、具体的な実績を挙げるまでには至らない国々が多いというのが現状です。

『手話訳聖書ビデオ』 これから

■現状から見出される課題

『手話訳聖書ビデオ』の制作は、これまでも、多くの支援者からのご献金、チャリティ活動やその頒布で得た収益を充てて進めら

教会の証し

日本の手話事情

●手話には統一的形式がないのとこのですが、日本の手話は何種類くらいあるのですか？

松本 日本には、生まれたときからのろう者が使う「日本手話」と、中

途失聴者が使う「日本語対応手話」のふたつがあるといわれていますが、私は日本手話と日本語対応手話とが交ざったものの三種類あるのではないかと思っています。また、細かく分ければ、地方ごとの手話、若い人と年輩の人の手話にも違いが

あり、お互いに伝えたいことが伝わらないこともあります。

●日本語と手話とは文法的な体系がまったく違うのですか？

松本 はい。もし、日本語の文法に従って手話をするならば、多くのろう者は正確な意味をつかめないと

思います。また、日本手話には、文法標識として表情や身振りなどが入りますが、日本語の文法に則した日本語対応手話には表情や身振りなどを入られませんか、日本語対応手話と日本手話とは、通じ方がまったく違ってきます。

れていました。しかしながら、先にご紹介した制作工程からも理解できるように、ひとつの『手話訳聖書ビデオ』が完成するまでには、たいへん長い時間を要しますし、翻訳者、チ

課題へのチャレンジ

エック者、手話訳の出演者をはじめ、カメラ撮影、ビデオ録画など多くの専門スタッフの働きが必要とされます。また、時間と人の力だけではなく高額な制作費も必要です。これは制作ペースや頒布価格に影響してきました。聖書全巻を完成させるまでには90年かかる想定され、その頒布価格はどんなに努力をしても、1本30000円（2時間テープ）にとどめるのが限界とされていました。制作を進めるうえでは、人的・資金的な面で大きな課題があるのです。



バプテストメディアセンターでの収録風景

『手話訳聖書ビデオ』の制作には、人的・資金的な側面での多大な援助が必要とされています。日本聖書協会は資金的な側面からその働きをバックアップしていくことにしまし

た。そして、90年かかるとされていた『手話訳聖書ビデオ』全巻の完成を、15年で成し遂げる計画を2003年からスタートさせました。これにより、現在すでに『手話訳聖書ビデオ』は1本10000円の頒布を実現しており、この夏にはDVD版の頒布も開始されます。ひとりでも多くのろう者の人たちへ、聖書のみ言葉を伝えるために、私たちはこれから完成までの15年間、全国的な募金活動を展開してまいります。皆様のお祈りとご協力をお願いいたします。

◆ご献金は(財)日本聖書協会までお願いいたします。

■郵便振替：00160-2-18410

■銀行振込：三井住友銀行京橋支店(金) 6552744

■インターネット送金：http://www.bible.or.jp

■口座振替 コンビニ収納もご利用いただけます。

『手話訳聖書ビデオ』は日本の

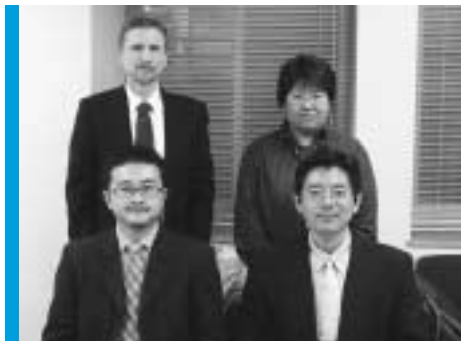
語り手紹介

日本ろう福音協会

理事長 松本英二氏

理事 ペナー・マーク氏

本部長 棚田 茂氏



これまで『手話訳聖書ビデオ』の制作・宣伝などに中心的に携わってこられた日本ろう福音協会の方々に、その制作の実情と全巻制作への熱い思いを伺いました。

松本氏（右下）、棚田氏（左下）、マーク氏（左上）、専従スタッフの桑原さん（右上）

とはいえ、日本語も日本語対応手話も、日本手話とは表現方法、文法が違っただけであって、手話による会話を察するというようなことに関する違いはありません。

アメリカの『手話訳聖書ビデオ』制作の実情

●アメリカでは20年前から手話訳聖書の制作が始められていながら、これまで50%くらいしか完成していないのはなぜでしょうか？

マーク パイオニアであるために試行錯誤の繰り返しが続いたこと、翻訳者の養成も時間がかかったことなどが挙げられるでしょう。方向性を定めるまで時間が必要だったわけです。作業方法が定まった最近では、制作ペースも上がり、ここ3年の間に旧新約全巻の10%を完了させています。それまで完了したものを合わせると約50%、新約はルカの残り2章くらいが終わったら完成です。から、これはいへんな成果だと思っています。

ただ、これまでの制作責任者が定年退職したことで、資金的な支援が思うにまかせないところがあるようなので、作業的にスピードアップしてきているとはいえ、これからそれに比例して全巻完成までの制作ペースが早まるとは言えないかもしれません。

制作にかける熱き思い

●手話訳聖書の制作に携わってこられた中で、大変だったことや喜びだったこと、今後に期待されていることなどをお話ください。

松本 聖書の言葉には一般的な手話にないものもあります。新しい手話を作った場合、今まで誰も見たことがないので必ず画面に字幕を入れますが、当然のことながら、手話での表現は必要です。どうすればいいか考えあぐねているときに「もっとわかりやすい表現方法があるはず」と言われると、頭の中が限界になり、これ以上考えられない状態になることもあります。とてもよい表現がひらめいても書き留めておくことができずに、次の日には忘れてしまったり、昨日できたことを忘れてしまったということもあります。

翻訳の仕事には多くの苦労が伴いますので、神様との関係がなければ継続できなかったでしょう。また、Vibii（日本ろう福音協会の別称の一員として協力して下さっている皆さんをはじめ、ビデオ収録に関する作業を一手に引き受けて下さっているBMC（パプテスト・メディアセンター／渋谷区）のスタッフ、そして、手話訳聖書制作の働きに賛同してくださる方々の協力によって、これまで進めてくる事ができ

ました。この働きによって自分を成長させていただいたものと感謝しています。

棚田 当初の試作版『ルカによる福音書 2章1〜20節の翻訳の失敗は辛いことでした。特に手話関係の専門家からの「これは劇的な表現で、聖書研究には使えない」という意見に、がく然としたことを覚えています。例えば、車がたくさんあると表現するとき「縦列した状態でたくさん並んでいる」といったように、ものの状態を加えて表現することをCL (Classical) といいます。アメリカではそれをうまく使っているのですが、私たちはそれを劇的な表現と誤解してしまっただけです。でも、この失敗があったからこそ、今があるのだと思います。

また、うれしかったことは、最初の『手話訳聖書ビデオ』を発行できたことです。今までなかったものを初めて作り発行できたことは、本当に喜びでした。

マーク 私のいちばんの願いはバリアフリー教会です。車椅子を使う身障者のためのスロープがあるように、手話訳の聖書があれば、ろう者への理解があるということの証しになります。日本のすべての教会に『手話訳聖書ビデオ』があるということになれば、これこそ教会だという日本の教会の証しになると思うのです。

緊急速報

読む、学ぶ、深める！ 聖書 スタディ版(新共同訳) 四福音書

発行迫る！



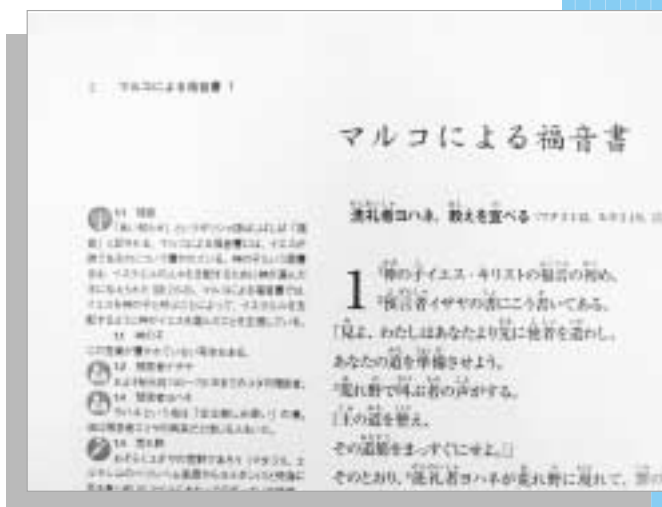
薄型でも内容充実 ※写真は完成品と異なります。

前号(21号)の特集でご紹介したスタディバイブル・パイロット版がまもなく発行されます。今年5月発行の予定でしたが、さらに内容的に充実したものをめざすため製作の調整をしてまいりました。

今回はマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネによる4つの福音書をまとめた限定発行となります。各聖書本文と並行して①各個所の原語に基づく解説、②参照箇所を紹介、③歴史的・地理的説明、④社会的背景や生活習慣の説明、⑤基本的な神学的意味の説明を掲載しています。絵や地図、年表などの図版も入って内容充実。初めて聖書に触れる方、み言葉をもっと深く味わいたい方に待望の1冊です。どうぞご期待！

仕様

- A5判
- 272ページ
- 2色刷り
- 紙製
- 本文文字サイズ／7ポイント
- 予価1,000円



内容見本

2003年9月発売予定

クリスチャンセンター 神戸バイブル・ハウス ついに開館!

西日本地区における聖書普及のセンターをめざして神戸市内の諸教会のイニシアティブにより、エキュメニカルレベルで準備が進められてきた《神戸バイブル・ハウス》が2003年1月31日発足しました。それを受けて4月17日（木）神戸市の中心、三宮に同館がオープンし、奉献式が行われました。当日は関西地域の諸教会の代表が集い、聖書協会からは大宮 溥理事長、渡部 信総主事が代表として挨拶しました。今年は聖書協会主催で5回の聖書セミナー、聖書特別展示などを企画しています。



奉献式のテープカット（KBH玄関前にて）

クリスチャンセンター神戸バイブル・ハウス
KBH

所在地 : 〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通 4-1-12
ハイパーホテル ワン・ツ・スリー2階
TEL : 078-252-1966
開館時間 : 月～金 午後1時～5時

BS NEWS

エジプトは人口の90%近くがイスラム教徒で、イスラム教国であると一般には知られております。カイロ市内にもヨーロッパのキリスト教会や寺院に匹敵する大きく立派なモスクがたくさんあり、私も7年前、観光でエジプトを訪れた時、モスク内部を見学し、その荘厳さに驚いた経験がありました。聖書の中では異教徒の国というイメージがあるせいか、意外と知られていないのが、エジプトは元々、イスラム教徒がエジプトに勢力範囲を広げるまでの長い間、初代キリスト教会が伝道したキリスト教国だったという事実です。今でもその流れを汲む約10%のコプト教会に属するキリスト教徒がおり、いつの間にか少数派に押しやられてしまいました。

現在、カイロには職員200名を有するエジプト聖書協会が置かれ、聖書の印刷

Eメール

エジプトへ アラビア語聖書を送る

渡部 信

わたべ まこと
日本聖書協会総主事

工場も所有し独自の聖書普及活動が推し進められております。日本聖書協会は今年度初めて協力・支援の形で、日本で印刷・製本したアラビア語の聖書をエジプト聖書協会に3万5千冊送ることができました。アラブ諸国への聖書頒布は国民の大多数がイスラム教徒なので容易ではありませんが、波風立たないように活動しているとのこと。また、エジプトではあまり本を読む習慣がないので、聖書カセットテープや聖書ビデオが聖書頒布の半分を占めています。ですから、将

来は一気にIT機器の聖書頒布へと飛躍するかもしれません。

このようにイスラム教国内では今も硬い岩に穴を開けるような地道な聖書普及活動がなされております。（人口約7千万人：年間30万冊の聖書頒布）



エジプト聖書協会のスタッフ（同協会聖書館にて）

いま、真の平和とは 神戸バイブル・ハウスからの メッセージ

池長 潤

いけなが じゅん

カトリック大阪大司教区大司教
(クリスチャンセンター神戸バイブル・ハウス理事長)



ハウスにも突きつけられている課題だと思います。

先日、空爆を受けたアフガニスタンを観察してきました。

タリバンによる支配が米国によって崩され、アフガニスタンには平和が訪れたように見えますが、実際はとても荒廃しています。民家はほとんどが破壊された状態のままです。これは米国の空爆ではなく、長年続いたアフガニスタン人同士の民族間抗争によるものです。

その結果、アフガニスタンの東側にあるパキスタンには難民がたくさん流れ込んでいます。パキスタンの首都イスラマバードにある難民キャンプも訪ねたのですが、子供たちと接することはできたものの、大人と話すのは危険だということで対話は実現しませんでした。というのも、彼らは非常に貧しく、捨てられたゴミを食べて生きており、その中にはアルカイダに入る人がた

くさんいます。つまり、自分たちをこういう貧しさに追い込んだのは欧米、キリスト教徒であるという考えがあつて、軍事訓練を受けているのです。

アフガニスタンに入っても驚くほどの貧しさです。学校の八割に校舎がありません。また中学の教室をのぞくと、紙不足のため、三人で一冊の教科書を使わなくてはならず、一つの机に三人掛けで、教室の前のほうに固まって勉強しています。病院には外国から来た医薬品があつて治療はできる状態なのですが、人々は貧しいために診察代を払うことができません。

生井先生というトラウマの専門家がアフガニスタンの首都カブールで子供の診療をされていますが、ある子供たちは太陽の日ざしの中に出たとたん、縮こまって動けなくなるそうです。爆撃の時に、ロケット弾の閃光と、人が大勢死んでいく場面を見たからです。また、ある子供たちは、肉屋にぶら下げた肉を見たとたん、ショックを受けて動けなくなります。それは、爆撃で両親の肉が飛び散るのを見たからです。これはなかなか治療が難しいと生井先生も言っておられました。

パキスタン人は、外国人、特にキリスト教圏から来た人を毛嫌いし、特にアメリカ

平和はだれもが望んでいます。戦争の声を聞かない日はありません。そういう中で、理想論ではなく、人間の悲しい現実から目をそらさずに、キリスト者として平和のために今何ができるのでしょうか。それは、クリスチャンセンター神戸バイブル・

人に対してはたいへんな嫌悪感を持っています。取り囲んで嫌がらせをしたり、多少傷つけたりすることは絶えず起こっています。私は、その嫌悪感、敵対感情に実際に接して本当にショックを受けました。アフガニスタンはそれと比べると外国人にも好意的ですが、アメリカ人に対してだけは難しい感情を持っています。

イラク戦争でアメリカは「イラク人をフセイン大統領から解放した」と言っていますが、実際のイラク人には解放者に対する感謝の感覚はありません。イスラム的な考えから、キリスト教に対してまだ深い嫌悪感があるのです。そういうものを解決できない限り、平和というのはそんなに簡単に

築けるものではありません。人間の心に深く入っている伝統的な精神文化はそう簡単には捨てられません。イスラム教は、旧約聖書を受け入れています。そして、今もその世界に生きているように見えます。度重なる戦争の中で神様が守ってくださるという世界です。そういう世界に対して、イエス様が新約時代になって何をもたらしたのかそれを見て考えないと平和の問題には入れません。

今までの歴史の中で、人間が人間に対して繰り返し残虐非道な行いをしてきました。東ティモールでもインドネシアによる虐殺が続きました。また、ナチスによるユダヤ人の虐殺、南京大虐殺、朝鮮戦争、ハンガリー動乱、ベトナム戦争、カンボジアでのポルポト派による虐殺、ソ連のアフガン侵攻、湾岸戦争、ウガンダでのアミン大統領による三十万人虐殺、ルワンダでの民族間抗争などです。真の平和をと叫びながらも、いつになったら人間は戦争をやめるのでしょうか。これからもこの状況は変わらないでしょう。人間の命の尊厳ということを本当に理解していない人々が多いからです。今、キリスト教徒は、このような人間の状況に対して何ができるでしょうか。この世界に対して預言者の使命を与えられた私たちは、何かをはっきりと言葉と行動をも

って表現してゆかなくてはなりません。ということは、相手に対して戦争を仕掛けることは言うまでもなく、自衛のためにも武器をとってはいけないということでしょうか。私は次のように考えます。私たちの完全なモデルであるイエスは、ご自分が傷つけられ、殺されても全く無抵抗でした。絶対に人を傷つけず、愛以外の何も表されなかったのです。だから私たちも、これこそが人間のあるべき姿だと主張し続けなければなりません。社会に対しても、政府に対しても、そのように言い続けることが必要だと思います。

しかし、自分が政治家の立場にあれば、国民を守るための防衛戦争をしなければならぬかもしれません。人間はまだまだ不出来であり、人間として正しいあり方が何かを分からずにいるからです。そういう現実の中で私たちは、戦争の全面撤回と武器の全面廃止に向けて、人類全体が対話と努力を重ね、軍備の縮小から完全廃絶まで一歩一歩進むことを唱え続けることが大切なのです。一人ひとりの人間も、国家も、いまだ達せられていないイエスの姿に向かって歩むことを怠ってはなりません。

記事は2003年4月17日開催の関西地区聖書普及懇談会の講演をもとに構成しました

の手紙 IⅢIIを読む



小林 稔

こばやし みのもる

上智大学神学部教授

「ヨハネの手紙」を読むにあたっては、著者などについてキリスト教会の伝統の中で言われてきたことを確認するのは基本としても、執筆状況と論理展開を探ることが肝要である。

手紙執筆の状況―異説問題

第三の手紙で長老と自称する著者がディオトレフェスを非難しているが、第一の手紙や第二の手紙で言及されている異説の問題がここにもあったと仮定し、R・ブラウンが提案するように視点を換え、地域教会の責任者ディオトレフェスの立場に立つて読み直してみると、彼が著者から非難される行動に出たことは理解できなくもない。長老のところから遣わされてきた旅の宣教師と別の意見を持つ宣教師とがやってきて、彼の集会で争いを始めようものなら、両者にお引き取り願いたくなるのは自然なことだろうからである。

この時代は、旅する宣教師を中心とした時代から、主導権が『デイダケ』や牧会書簡に見られるように、地域教会の指導者へ移動し、さらには（アンテيوخアのイグナチイオスの手紙に見られるような）単一司教制へ移行してゆく流れの中にあつたのである。

第二の手紙は第一の手紙（4・2～3）に見られるのと同じような「イエス・キリストが肉体において到来することを告白しない」

（7節）人々の存在を問題にしている。また、おそらくそれと関連して、教えを実践的なもの、生活と不可分なものと捉えている（4～6節）。これら二つの点で、第一の手紙と第二の手紙は共通している。

ただし、異論を唱える人々にどう対処すべきかということになると、ずいぶん違ってくる。第一の手紙が「そして、あなたがた自身が彼から受けた油があなたがたのうちに留まっている。そして、あなたがたには誰かがあなたがたを教える必要はない」（2・27）と言っていたのに対し、第二の手紙は、そういう人「を家に上げてはならない。また挨拶もしてはならない。なぜなら、そのような者に挨拶する者はその者の悪しき業に与かることになるからである」（10～11節）と言っているからである。

なぜなのか。第一の手紙が書かれた時点ではまだゆとりがあつたが、第二の手紙が書かれた時点では鷹揚なことを言っていられないようになったのであろうか。他方、第一の手紙が「誰かがあなたがたを教える必要はない」と言うのを、ディオトレフェスの処置に対する反撥だと考えれば、第一の手紙よりも先に第三の手紙が書かれたことになる。そのあたりはいくつかのことを前提とした想像になるので結論は下さず、大きな時間的隔たりを経ず比較的短期間に、つまり大局的には同じ

ヨハネ

状況下で三つの手紙が書かれたと考えたい。

『ヨハネ福音書』の主要部分が書かれた頃、フアリサイ派ユダヤ教徒との対立下で結束していた小さな群れは、最終編集者が加筆した頃には内部でも争いが起き、最終編集者の尽力にもかかわらず、これらの手紙が書かれる前にこの信仰共同体は分裂してしまっていた(ヨハ2・18～19など)のである。このような時代に書かれたものとして第一の手紙を読んでもみると、かなりの想像が入るが、この後敵対者たちはおそらくグノーシス運動に加わってゆき、手紙の著者のグループはペトロの教会(主流教会)と合同していったのであろう。

第一の手紙に見る3つの主題 — 罪・愛・信仰 —

第一の手紙の論理展開については、大貫隆氏が「著者の思考形式は『正しい』キリスト

教信仰、兄弟愛、罪などの限られた中心的な主題のまわりを連想的に循環するタイプのものであり、それがこの手紙の構成にも現れている」(『ヨハネ文書』岩波書店、一九九五年一一六頁)と的確に述べている。

単語だけを拾っても、序文の後、(I) 1・5～2・2あたりでは、「罪」とその動詞形、また類語の「不義」とその反対語の形容詞形「義しい」といった言葉が頻出し、罪と義のテーマが扱われている。この主題をAと呼んでおきたい。続いて(II) 2・3～11あたりには(兄弟を)「愛する」という動詞や「命令」(掟)という語が出てきて、愛の掟という主題が扱われている。このテーマをBと呼びたい。(III) 2・12～28には「世」「邪惡な(者)」「反キリスト」「たぶらかす」「信仰を」「告白する」などが頻出して、間違った信仰および世とその裏にあるものといったテーマが扱われている。この主題をCと呼んでおきたい。

そして(IV) 2・29～3・10では「罪」とその動詞形および「義しい」に、その名詞形「義」が加わって、再びテーマAに戻っている。(V) 3・11～24は「命令」と「愛」にその動詞形「愛する」が加わって、再びテーマBが扱われていることを示している。(VI) 4・1～6には「世」「反キリスト」「告白する」に、「信じる」「偽預言者」「霊」が加わ

って、そこでは再びテーマCが扱われている。A B C A B Cと来たのでテーマAが期待されるが、続く(VII) 4・7～21には「命令」「愛」「愛する」が出て、テーマBが取り上げられている。次いで、5・1～3でもそれらの語が出るが、それを移行部として(VIII) 5・1～12には「世」「霊」「信じる」に、その名詞形「信仰」が加わってテーマCに話題が移る。

これらの三つの範疇に属する単語の分布は排他的ではない。右記はテーマに合致する語彙を抜き出しただけで、他のテーマとの関連で用いられた語も分布している。特に三回目の周期ではそれが顕著である。また同じ単語でも(罪を)「告白する」と(信仰を)「告白する」、(兄弟・神を)「愛する」と(世を)「愛する」、神の「霊」と反キリストの「霊」など、違った主題との関連で用いられているので、機械的に処理することはできない。それに右に記したそれらのテーマが扱われている部分の範囲も、有機的な結合の中であるから境界線を明確にすることはできない。しかし、三つの主題のおよその移り変わりとその流れを見ることができよう。

原稿は2002年秋の「聖書セミナー」の講義内容をもとに執筆いただきました

(GSP : Global Scripture Project)

日本聖書協会では1997年から現在まで、資金不足のために自国で聖書を製作できない各国の聖書協会（特にアジア、アフリカ、中南米）へ、現地語の聖書を日本で製作して贈呈するプロジェクトを進めてまいりました。今回はタイとフィリピンへ向けた聖書贈呈の働きと、それによって聖書を手にされた人々の様子をレポートします

**タイのアカ族から喜びの声―
現地語の聖書が届けられた！**

2001年、アカ語聖書が日本で3千冊製作され、タイとミャンマー国内にあるアカ族の教会に頒布されました。

アカ語聖書の翻訳プロジェクトは1983年に開始され、旧約聖書は初めての翻訳であり、新約聖書は聖書協会世界連盟（UBS）の新翻訳基準に沿っての新しい翻訳となりました。現地翻訳者ノエル・キヤ・ヘ氏が20年間の歳月をかけ、UBSの翻訳コンサルタントや受容言語検討委員会と共に草案を起草、検討しつつ、地道な作業を進めてきましたが、ついに日本でその印刷が実現することにより、完成に至



アカ族の祭の儀式風景（民族衣装が特有）

ったのです。

受け取ったアカ族のクリスチャンたちは、自分たちの言葉で書かれた聖書が送られてきたこと、しかもそれがタイ聖書協会とミャンマー聖書協会の援助により、安価に頒布されたことにとても喜んでいました。中国、ミャンマー、タイ、ラオスおよびベトナムに住むアカ族の80%が、共通語であるアカ語を話しますが、その他のアカ族の間では共通語以外の20余りの言語が使用されているのが現状です。

しかしながら、今回、日本聖書協会の協力により、アカ族の人々が母国語で書かれた聖書を手にすることができたことはたいへん画期的なことでした。

以下に、アカ語聖書を読んだ方々がお寄せくださった感動の言葉をご紹介します。

「聖書をアカ語で読めるようになったことで、内容がより明確になった気がします。」

デビッド師（ミャンマーのアカバプテスト連盟牧師）

「自然なアカ語で表現され、特に小さな言い回しが正しく使われていて、とても読みやすいです。」

ポール・ルイス師（元宣教師、少数言語聖書翻訳者）

「読んでいて、神がアカ語で語りかけてくださっているように感じました。」

アロ氏（タチレイク村ホー・カイアカバプテスト教会執事）

海外聖書製作プロジェクト

現地レポート

フィリピンにおける地道な働き ―「各家庭に光を」聖書頒布計画

フィリピン国内における実際の頒布は、住宅供給政策に関わっている政府機関やNGO団体、そして近隣の教会の協力を得て進められていますが、海外からのサポートも不可欠であり、日本聖書協会は聖書製作の協力をするにより、この働きを積極的に支援しています。1999年から2002年までに、日本からフィリピンに15万冊のタガログ語聖書と2万冊の英語聖書が贈られました。

現地のフィリピン聖書協会は国内の全体的な改革に貢献していくという意気込みを持っており、現在の大きな課題である「貧困」を解決するための政治・経済的な方策は、道徳的改革なしには無駄になってしまうという立場を取っています。2001年の



「各家庭へ光を」聖書頒布計画記念式の会場



贈られた聖書を手にして喜ぶ難民居住区の人たち

アロヨ比大統領演説で掲げられた貧困層向けの低価格住宅供給政策に合わせて、それらの各家庭に聖書を頒布するため、15万冊の聖書製作を2002年から2004年にかけて計画しています。2002年に2万冊、2003年に5万冊、2004年に8万冊を頒布する予定です。この計画のためにはUS\$441,013(約5,300万円)の資金が必要とされています。

この計画の最初の頒布活動はマニラ市内最大の難民居住地区であるタワ・ヴィルで行われました。この地区の住民は国内紛争、都市開発などで住む場所を失った貧しい人々です。これらの人々に聖書を届けるため、政府機関である国民住宅公社(NHA)および地元のカトリックとプロテスタント合わせて13の教会が集まり、頒布の協力体制を整えました。2002年12月7日の記念式には政府や教会の関係者が集まって、地区のために祈り、讃美の時間が持たれました。州知事のジョネル・ミラン氏はメッセージの中で、祈りと熱心な言葉の学びの大切さを強調しました。その日の内に教会ボランティアで結成されたチームにより、聖書は地区内の人々に手渡されました。人々は快く聖書を受け取り、翌週の日曜日には教会出席者が増えたという報告がありました。

2003年は5月9日の聖書協会世界連盟祈禱日(UBSDAY)に合わせて、ノースヒルズ村の4,000世帯へ聖書頒布が行われました。「各家庭へ光を」届ける活動と日本聖書協会の支援は今後も地道に続けられていく予定です。

聖書を教科書として道德教育を授けた市井の教育者

井口喜源治と聖書

鈴木範久

すずきのりひさ 立教大学名誉教授

教育は、いつの世にあっても大問題である。とりわけ21世紀に入った今日の日本社会を見ると、心ある人ならみな、深刻な教育の危機を覚えずにはいられない。教育のありかを問う場合、わたしが常に想起する人物は井口喜源治（いぐちきげんじ）である。

井口は、1870（明治3）年、信州安曇野に生まれた。1884年、松本の中学校（今の松本深志高校）に友人相馬愛蔵（新宿中村屋の創始者）とともに入学。上級には木下尚江がいた。井口は、同校で宣教師の英語教師エルマー夫妻により、はじめてキリスト教にふれた。

最初は公立小学校の教師になり、相馬愛蔵らによって結成されていた東穂高禁酒会に加入した。東穂高禁酒会は、特定の宗教

に属さないとの規約を掲げたが、キリスト教の影響を否定できない。また同地は、松沢求策らにより自由民権運動も起こされた

動家である井口は、学校の管理者の目には、小学校教師として好ましい存在とはされなかった。条約改正にともなう外国人の「内

には革新の気風がみなぎっていた。東穂高禁酒会は、ただの禁酒運動というよりは社会改良を掲げる青年団体といってよい。そのため、禁酒はもとより、社会の風教を乱す施設の設置に対して反対運動も展開していた。

東穂高禁酒会の活



井口喜源治愛用の聖書（上）
創立当時の研成義塾仮校舎（左）



日本のキリスト教教育の先駆者 井口喜源治

地難居」は、1899（明治32）年から実施がきまっていた。それによるキリスト教の拡大を恐れて、教育界ではキリスト教への警戒が強まっていた時代でもある。警戒人物の井口に対し、嫌がらせの一つとして勤務校の変更が言い渡された。ところが井口の評判を聞いた先方の学校からも排斥運動が起きた。井口は、当時の公教育界から忌避されたのである。

やむなく井口は学校をやめ、1898（明治31）年11月7日、私塾研成義塾を開いた。研成義塾では、井口の教育理念に共鳴する家の子供や、貧しいために進学のできない子供たちを受け入れ、教科はすべて井口一人で授けた。40年近い間に約600

人に達する卒業生を世に送った。

時間表で見る限り、中等教育にあたる科目は一通り備えられ、他の学校と変わりなかった。相違は、建学の精神と道徳教育にあった。「研成義塾設立趣意書」を読むと、そこで目指された教育が、人格的、全人的、個性的、宗教的、社会的教育であることが明らかである。その具体化のためには、どの科目も教える教師の力量がものをいう。そして全科目の中心に置かれた道徳教育が重要になる。

道徳教育は、「修身」または「道話」の名で広く倫理的な話が教えられたが、『旧新約聖書』も教科書に用いられた。井口自身書き込み愛用した聖書は、現在、井口喜源治記念館に少なくとも四冊見いだされる。1900年および1904年に刊行された『旧新約全書』、『引照新約全書』（1904）、『新約聖書 改訳』（1926）である。なお、井口の信仰と聖書理解を深めた人として、内村鑑三の名を忘れることはできない。

井口は、聖書によって、はたしてどのような人間を育てようとしたのか。井口自身の言葉や卒業生たちの回想などからみると、それは大別して二点ある。

第一は、「かしらたらんと思ふ者はなんじらのしもべとなるべし」（マタイ20・27）との、人に仕える人間になることである。

立身出世ではなく、奉仕する「凡人」を育てようとした。愛用の『新約聖書 改訳』では、その聖句の上欄に「信者は己れのほまれをあげ権勢をふるふことは目的でない神のため人のため特に人の救はるゝために働くべきである」、また下の余白に「奉仕の生活 議員に当選して喜ぶ者もあるが、信者のよろこびはそれとことなる」との書き込みがみられる。そうかといって、この世の権力、金力の前に、卑屈に頭を下げているのみの人間ではない。

それが第二の「十字架を負ふて我に従え」（ルカ9・23）である。聖書の教えに従って世の不義に立ち向かうとき、艱難が相次ぐ。自分の力のみ頼ってとはとても克服出来ない。ただ神により恐れずに不義に抗し、そこに生じる艱難に耐えることを説いた。この方だけでも傲慢な人間になりやすい。

一方のみでなく、両方をそなえた人間、堅く正義に立ちつつも人に仕える人間を育てようとした。「若き日に汝の造主を覚へよ」（伝道の書12・1）と勧めた。これも愛用の『旧新約聖書』には、この聖句の上欄に「普通の人は壮年の時放縦の生活を送り老ひて後清き生涯に入らんとす 宗教教育はなるべく早く始むべきである」と書き込んである。それが井口の言う「えらい人」ではなく「いい人」になる道であったのである。

教会備え付け聖書 リフレッシュキャンペーン

2003年7月より、教会備え付け聖書「リフレッシュキャンペーン」を実施いたします。教会に備え付けておられる古くなった聖書を買換えてみませんか？ 現在当協会で扱っている全製品が注文可能です。キャンペーンに合わせて、備え付け用にふさわしいクロス装厚表紙でできた新共同訳の中型聖書〔NI53 (RC)〕、中型聖書旧約続編付き〔NI53DC (RC)〕2点も発行いたします。買い換えのご注文をくださった教会様には特典をご用意しております。



教会備え付け用中型聖書 (新刊)

特典内容

- ★ お買い上げ金額に応じてレインボーセット（しおり付き50冊新約聖書セット）、バイブルアトラス（聖書地図）などをプレゼント。
- ★ ご不要となった聖書のお引き取りをいたします。聖書は再生紙として生まれ変わります。

期間 : 2003年7月～10月末日（頒布、引き取り共）

対象製品 : 現在当協会でも取り扱っている全製品

ご注意 : 引き取りの際の送料は、注文者のご負担となります。

詳しくは頒布部までお問い合わせください。

TEL03-3567-1987 FAX03-3567-4451

"Refresh Church Bibles" Campaign

編集後記

本年4月4日（金）『手話訳聖書ビデオ』全巻完成に向けて記者会見が行われました。当日はキリスト教関係のメディアのみならず、一般新聞の関係者もご出席くださり、関心の大きさを肌で感じる事ができました。

先日のインタビューの時に強く印象に残ったのは、手話には統一的な言語がないということでした。しかも「日本語」と「日本語対応手話」は同じ手話でありながら、うまく通じないという現実があります。今回、『手話訳聖書ビデオ』を発行していくことで、これがクリスチャンらう者へのみ言葉の提供に留まらず、広く日本人のろう者に対する福音伝道へとつながり、さらに言えば、この聖書がきつかなって日本で共通の手話が生まみ出される新たな潮流ができることを望んでおります。

もう一つの画期的な出来事は、神戸の地に聖書普及の拠点となるクリスチャンセンター神戸バイブル・ハウスが設立されたことです。「ITやさまざまな手段が開発されている中で、人と人が肌で感じ合う対話は聖書普及や福音伝道にとって基本であるだけでなく、不可欠な要素です」とは同センター理事のお話。同センターが今後、多様な形で神の御業のために用いられることを願ってやみません。

◆本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。お葉書、Eメールなどでお受けいたします。お寄せくださった方には素敵な『絵葉書セット』をもれなくプレゼントいたします。
Eメール / info@bible.or.jp

翻訳委員社中訳『新約聖書』 (分冊)

1876年～1880年
縦：22cm、23cm
(大きさに2種類あり)



ヘボンはじめ宣教師たちは各派種々の仕方で聖書の日本語訳を試みていたが、1872年9月に最初の在日プロテスタント宣教師会議が横浜居留地39番地のヘボン宅で開催された。この会議で、聖書の翻訳を各派共同であることをはかり、新約聖書翻訳委員を選出した。責任者はJ.C.ヘボン、S.R.ブラウンとD.C.グリーン。日本側から補佐として奥野昌綱、松山高吉、高橋五郎が選ばれ、後に井深梶之助が加わった。翻訳にあたって、ギリシア語原文を底本とし、英語聖書 King James Version、漢訳ブリッジマン・カルバートソン訳『旧新約全書』を参考にしたという。訳文は日本人補佐の優れた協力により、漢字まじりの格調高い文体となり、振り仮名が本文と定めた、いわゆる明治訳である。翻訳委員社中は1874年3月より訳業を開始し、訳した書より分冊で刊行、17冊分が完了したのは1880年であった。

アートバイブル

(新共同訳聖書抜粋)

絶賛
発売中!



聖書が見える、絵画が読める!

聖書に関連した世界の名画を関連個所の随所に掲載。聖書本文を読むだけでなく、絵画を見ながら美術鑑賞もできる。掲載名画300点以上。巻末に各絵画の所蔵美術館索引も付いて便利。海外旅行の美術館巡りにも有効!

A5変形サイズ/ハードカバー 本体 2,800円
528ページ/オールカラー



天地創造
創世記 1-3

日野原重明氏(聖路加国際病院理事長)推薦!

アートバイブルには、聖書の記事と抱き合わせて世界の名画が大きな色刷りで組まれている。この絵を眺めながら読む聖句は、読者に強いインスピレーションを与える。

新共同訳 カジュアル聖書

- 厚さ、重さをダウンサイズしたハンディ版
 - 66巻 厚さ: 約23ミリ 重さ: 約600グラム
 - 続編付 厚さ: 約27ミリ 重さ: 約720グラム
- 縦組聖書の2ページ分を1ページに収めた横書き2段組
- カジュアルで色彩感を出した紙装表紙を採用、価格がお求め易くなりました。
- 学生や入門者に適した読むためのガイド、年表などが付いて内容充実!
- A5判、インデックスつき

■ 楽園、道 旧新約聖書 66巻 本体1,700円
■ 天使、創造 旧新約聖書 旧約続編つき 本体1,900円

■ 注文のお問い合わせ・カタログの請求は下記まで



財団法人
日本聖書協会
JAPAN BIBLE SOCIETY

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 聖書館ビル

TEL 03-3567-1987 FAX 03-3567-4451 <http://www.bible.or.jp>

● ホームページからも注文できます(荷送送料別途)

お求め易く、
内容充実!

